

横浜市における包括委託の状況について

1. 本市下水道事業の管理体制について…………… P. 1
2. 下水道管路の包括的民間委託について……………P.3
3. 下水道施設の包括的管理委託について……………P.7

1. 本市下水道事業の管理体制について

下水道管路

下水道管路部と

18区の土木事務所

(主な管路)

管きよ、マンホール、取付管

下水道施設

下水道施設部

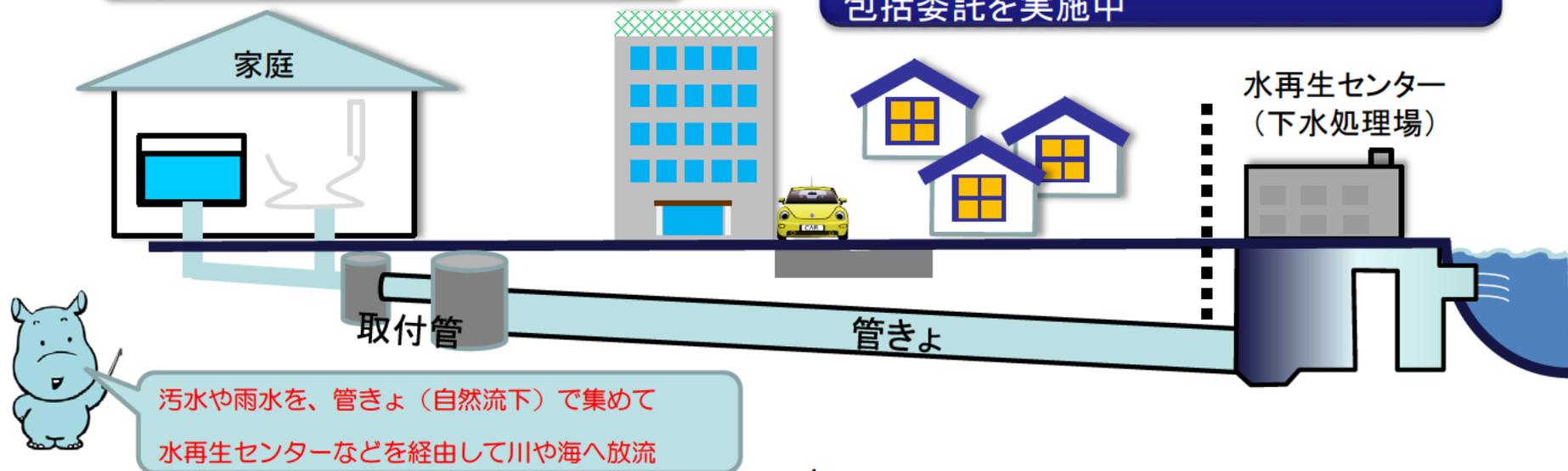
水再生センター・下水道センターなど

(主な施設)

水再生センター、汚泥資源化センター、
前処理施設、ポンプ場

管きよ(中大口径下水道管路)で
包括委託を検討中

汚泥資源化センター2箇所
前処理施設2箇所
包括委託を実施中



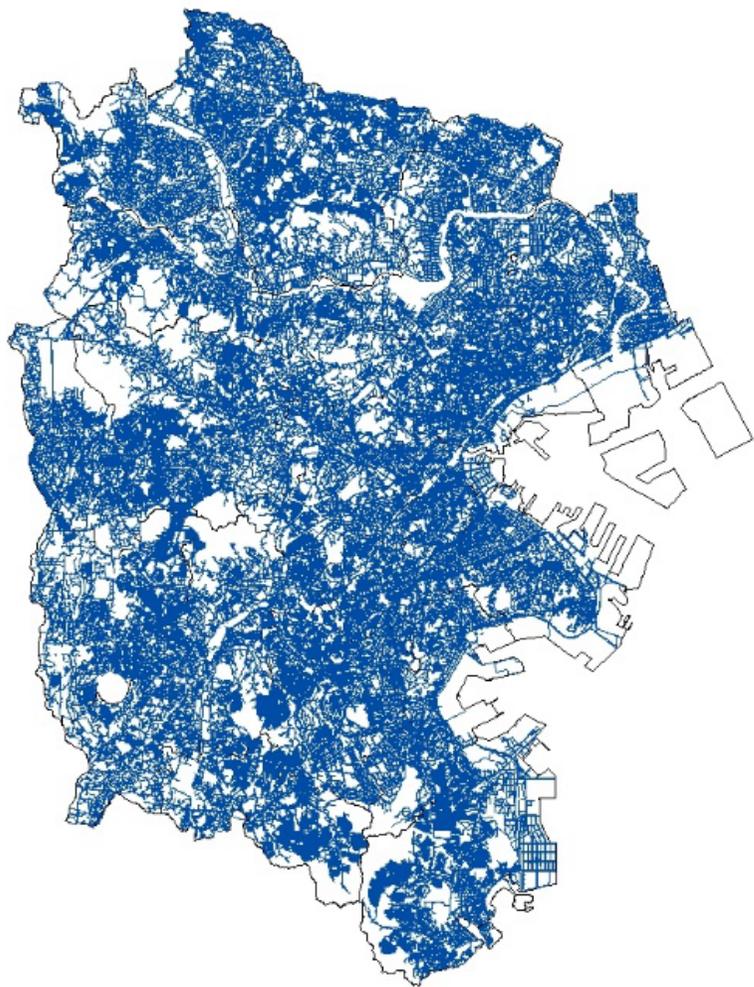
2. 下水道管路の包括的民間委託について

2.1 下水道管路の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p3

2.2 中大口径下水道管路への包括的民間委託導入の背景・目的・・・・・・・・p4、5

2.3 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p6

1. 下水道管路の概要



- 下水道普及率：概成100%（R元年度末）
- 管きょ延長：11,898km
うち中大口径下水道管 約1,900km
- マンホール：537,991箇所
- 取付管：4,448km

2. 中大口径下水道管路への包括的民間委託導入の背景・目的(1/2)

【平成30年度より】

事後保全から状態監視を中心とした維持管理へ移行

布設後30年以上経過した中大口径下水道管路(約1500km)の**詳細調査**(TVカメラ・潜行目視)

平成30年度から10年間(令和10年度まで):約150km/年

⇒約400箇所/年の緊急性の高い異常箇所を確認(平成30年度実績)

現在は異常箇所ごとに個別業務で対応

① 軽微な対応で可能な異常箇所
⇒各区土木事務所の管内一円工事にて対応

② ①以外の異常箇所
個別業務により対応方法を検討後、対応のための**修繕工事**や**清掃業務**を発注
⇒迅速性に欠ける

【イメージ】

1年目	2年目	3年目
詳細調査 異常発覚	検討 (設計)	修繕工事 ⇒対応完了

異常発覚から対応完了まで
2年を要する

対応のさらなる迅速性が求められる

2. 中大口径下水道管路への包括的民間委託導入の背景・目的(2/2)

①対応のさらなる迅速性

⇒ ・一連業務(詳細調査→清掃、詳細調査→修繕工事)の**パッケージ化**

②限られたリソース(ヒト・モノ・カネ)による対応

⇒ ・維持管理業務の**一層の効率化**

・民間企業のノウハウやアイデア・創意工夫の**最大限の活用**



包括的民間委託の導入について検討

3. 業務概要

- 委託件名（仮称）：

- 横浜市中大口径下水道管路施設包括の維持管理業務委託（北部）

- 横浜市中大口径下水道管路施設包括の維持管理業務委託（南部）

- 業務期間 : 3年間（令和3年度～令和5年度）

- 対象業務 : 詳細調査（緊急詳細調査含む）

- 緊急清掃

- 緊急修繕

- 統括マネジメント

3. 下水道施設の包括的管理委託について

3. 1 下水道施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p8

3. 2 下水道施設への包括的管理委託導入の背景・目的・・・・・・・・p9

3. 3 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p10、11

3. 4 包括的管理委託の導入状況・・・・・・・・・・・・p12

1. 下水道施設の概要

下水道施設は下記のとおり、11か所の水再生センター・2か所の汚泥資源化センター・2か所の前処理施設・26か所のポンプ場の施設があります。

包括的管理委託は、南北の汚泥資源化センターと金沢水再生センター前処理施設（鳥浜第一工場排水処理場、福浦工場排水処理場）の3事業で導入しています。

◆下水道施設一覧

目的	施設名	所在地
水再生センター	1 北部第一水再生センター	鶴見区
	2 北部第二水再生センター	鶴見区
	3 神奈川水再生センター	神奈川区
	4 中部水再生センター	中区
	5 南部水再生センター	磯子区
	6 金沢水再生センター	金沢区
	7 港北水再生センター	港北区
	8 都筑水再生センター	都筑区
	9 西部水再生センター	戸塚区
	10 栄第一水再生センター	栄区
	11 栄第二水再生センター	栄区
汚泥資源化センター	1 北部汚泥資源化センター	鶴見区
	2 南部汚泥資源化センター	金沢区
※前処理施設	1 鳥浜第一工場排水処理場	金沢区
	2 福浦工場排水処理場	金沢区

目的	施設名	所在地
汚水中継・雨水排水ポンプ場	1 末吉ポンプ場	鶴見区
	2 樽町ポンプ場	港北区
	3 北綱島ポンプ場	港北区
	4 鶴見ポンプ場	鶴見区
	5 桜木ポンプ場	西区
	6 保土ヶ谷ポンプ場	保土ヶ谷区
	7 磯子ポンプ場	磯子区
	8 金沢ポンプ場	金沢区
	9 太尾ポンプ場	港北区
	10 新羽ポンプ場	港北区
	11 戸塚ポンプ場	戸塚区

目的	施設名	所在地
雨水排水ポンプ場	12 上末吉ポンプ場	鶴見区
	13 江ヶ崎ポンプ場	鶴見区
	14 高田ポンプ場	港北区
	15 潮田ポンプ場	鶴見区
	16 市場ポンプ場	鶴見区
	17 平沼ポンプ場	西区
	18 楠ポンプ場	西区
	19 山下ポンプ場	中区
	20 万世ポンプ場	南区
	21 吉野ポンプ場	南区
	22 磯子第二ポンプ場	磯子区
	23 六浦ポンプ場	金沢区
	24 川向ポンプ場	都筑区
	25 鴨居ポンプ場	緑区
26 笠間ポンプ場	栄区	

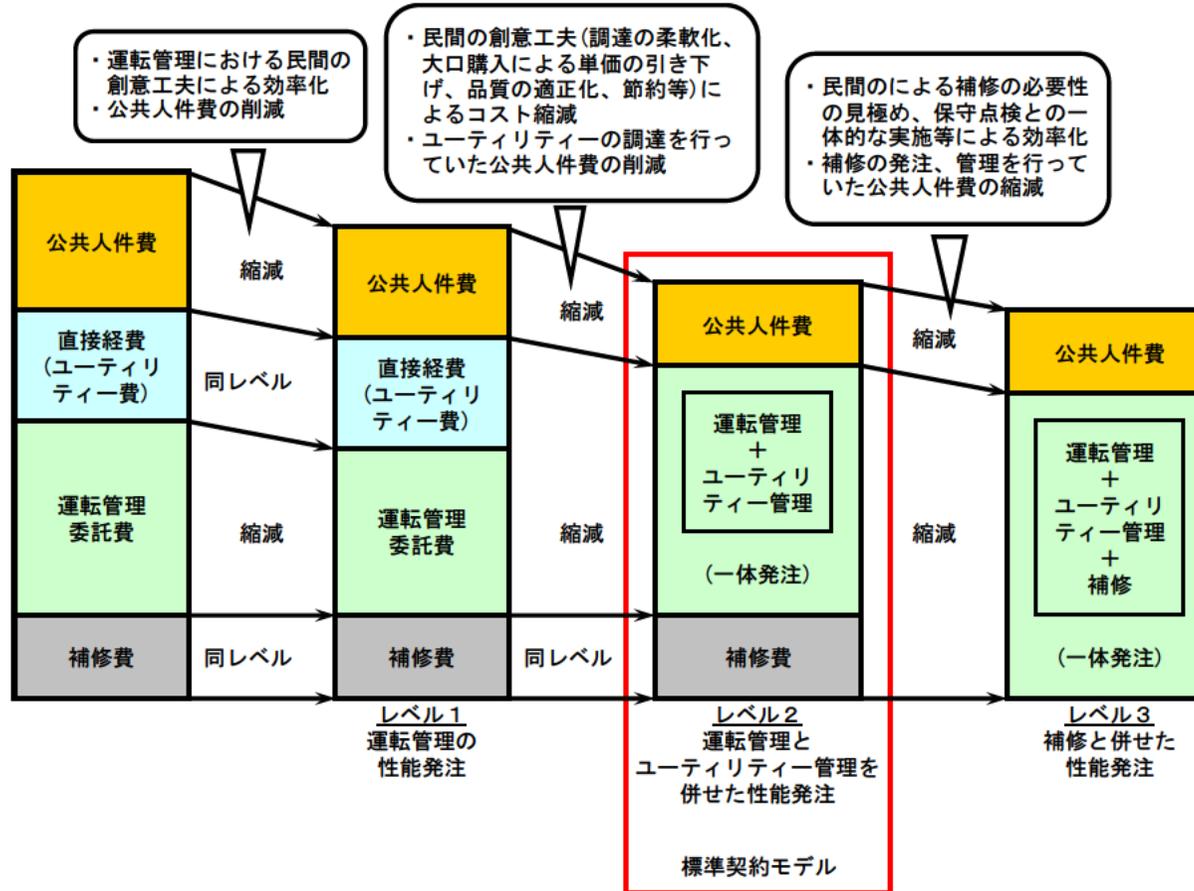
※前処理施設については2か所で1つの包括的管理委託としています。

2. 下水道施設への包括的管理委託導入の背景・目的

包括的管理委託導入前は、仕様発注方式による運転管理業務委託を実施していましたが、より一層の運転管理業務の効率化を図るため、包括的管理委託を導入しました。

導入効果としては、民間企業の運転管理のノウハウの活用による業務の効率化、コスト縮減、公共人件費の削減などが図られることです。

包括的民間委託によるコストの縮減イメージ



3. 事業の概要

【現事業概要】

対象施設	南部汚泥資源化センター	北部汚泥資源化センター	金沢水再生センター前処理施設	
			鳥浜第一 工場排水処理場	福浦 工場排水処理場
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・南部方面6か所(中部、南部、金沢、西部、栄第一、栄第二)の水再生センターから送られてくる汚泥の集約処理施設 ・汚泥処理能力:14,700m³/日 	<ul style="list-style-type: none"> ・北部方面5か所(都筑、港北、北部第一、神奈川、北部第二)の水再生センターから送られてくる汚泥の集約処理施設 ・汚泥処理能力:12,500m³/日 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢区鳥浜近辺の工場排水を下水道に流すための前処理施設 ・処理能力: シアン 60m³/日 クロム 214m³/日 酸洗 126m³/日 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢区福浦近辺の工場排水を下水道に流すための前処理施設 ・処理能力: シアン 130m³/日 クロム 75m³/日 酸・アルカリ 1,320m³/日
主要設備	送泥設備、受泥設備、濃縮設備、消化タンク設備、脱水設備、焼却設備、分離液処理設備	送泥設備、受泥設備、濃縮設備、消化タンク設備、脱水設備、焼却設備、分離液処理設備	シアン系排水処理設備、クロム・酸洗系排水処理設備	シアン系排水処理設備、クロム系排水処理設備、酸・アルカリ系排水処理設備
受託者	月島テクノメンテサービス株式会社	JFE環境サービス・JFEエンジニアリング共同企業体	JFE環境サービス株式会社	
契約期間	平成28年4月1日～令和4年3月31日 (6年間)	平成29年4月1日～令和5年3月31日 (6年間)	平成28年4月1日～令和4年3月31日 (6年間)	
当初 契約金額 (税抜)	6,462,000,000円 [89,750,000円/月(72回)]	6,048,000,000円 [84,000,000円/月(72回)]	868,320,000円 [12,060,000円/月(72回)]	

対象施設	南部汚泥資源化センター	北部汚泥資源化センター	金沢水再生センター前処理施設	
			鳥浜第一 工場排水処理場	福浦 工場排水処理場
施設外観 (航空写真)				
対象業務	<p> 運転管理、日常・定期点検、緑地管理、機械電気設備保守点検業務 薬品、油脂、材料及び備消耗品等の調達 軽微な修繕 地震等緊急時対応、見学対応 等 </p>			

4. 包括的管理委託の導入状況

南北の汚泥資源化センターでは、平成19年7月以降、順次包括的管理委託を導入しています。

金沢水再生センター前処理施設についても、平成24年4月以降、包括的管理委託を導入しています。

年度	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
委託名称																			
南部汚泥資源化センター包括的管理委託		第一期 3年9か月間 H19.7～H23.3				第二期 5年間 H23.4～H28.3					第三期 6年間 H28.4～R4.3					第四期 R4.4～予定			
金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託						第一期 4年間 H24.4～H28.3					第二期 6年間 H28.4～R4.3					第三期 R4.4～予定			
北部汚泥資源化センター包括的管理委託		第一期 4年間 H20.4～H24.3				第二期 5年間 H24.4～H29.3					第三期 6年間 H29.4～R5.3					第四期 R5.4～予定			